



Mitsui Chemicals

2008年度 中期経営計画

2008年1月18日
三井化学株式会社



Mitsui Chemicals

「化学」「革新」「夢」の三井化学
～絶えず革新を追求し、
化学のちからで夢をかたちに～

2008年1月18日

社長 藤吉 建二

04中計期間(04~07)の営業利益推移

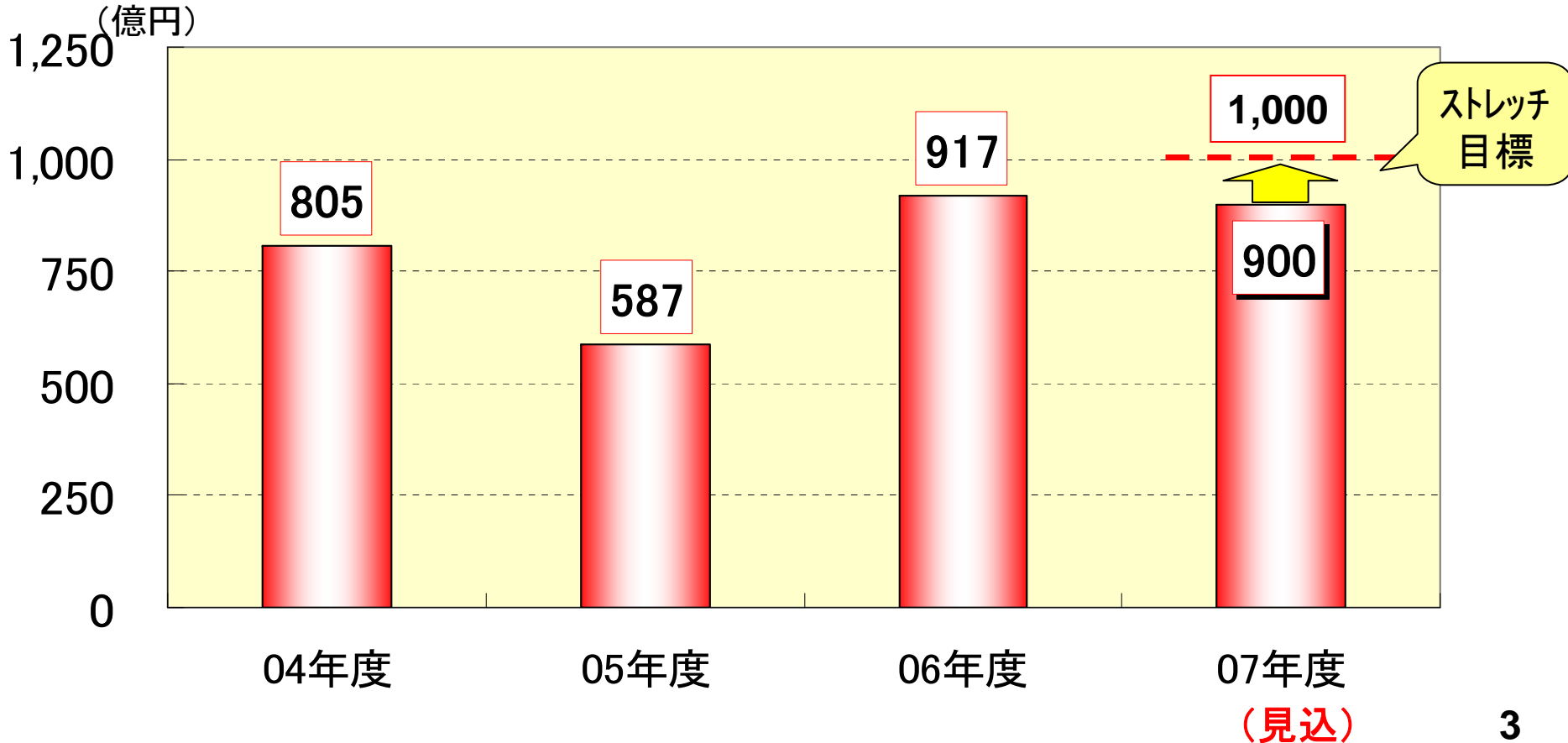
(4カ年累計営業利益)

04中計(計画) 3,200億円

実績(見込) 3,209億円



4年間の営業利益累計
は、ほぼ04中計通り



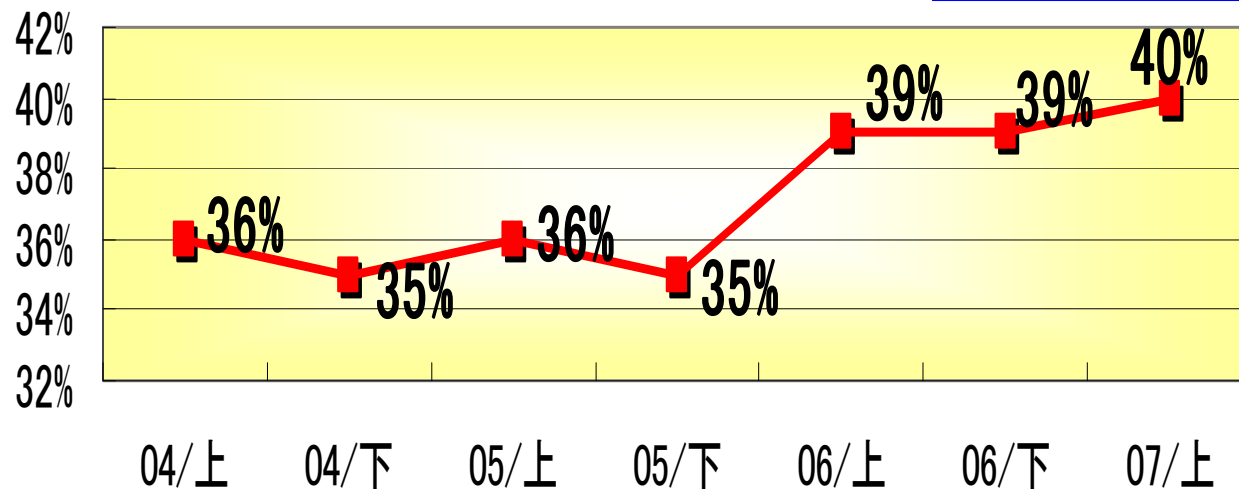
07年度上期決算概況

・売上高、営業利益

| (単位:億円) | 07年度 上期 | | |
|---------|---------|-------|-----|
| | 予算 | 決算 | 差異 |
| 売上高 | 8,900 | 8,816 | -84 |
| 営業利益 | 380 | 427 | 47 |

過去最高益

・売上高海外比率推移



事業展開トピックス[機能材料、先端化学品]

◆岩国/多目的セミコマーシャルプラント完工

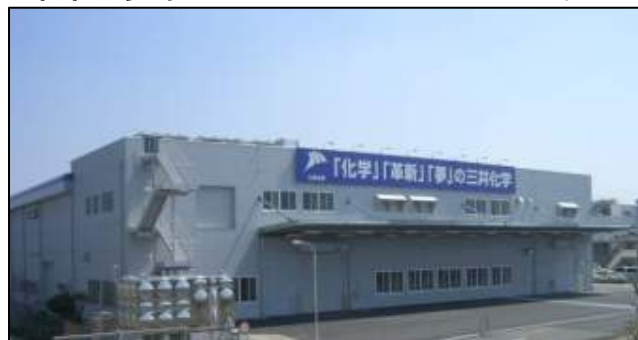
<1月>



岩国/多目的セミコマーシャルプラント

◆名古屋/高機能フィルムセンター完工

<3月>



名古屋/高機能フィルムセンター

◆錦湖三井/MDI能力増強決定

<4月> (完工 09年6月)

◆三共アグロ100%化

<4月>

(10月:三共アグロ、三井化学クロープライフ統合)



三共アグロ株式会社

◆積水化学よりトナー樹脂事業譲受け

<4月>

事業展開トピックス[機能材料、先端化学品②]

◆GE、長瀬産業との合併解消合意

<8月> (日本ジーイープラスチックス、ジェムピーシー)

◆下関/NF3増強営業運転開始

<8月>

(+400トン/年 1,300トン→1,700トン)

◆市原/3EPT増設完工

<10月>

(+75千トン/年 45千トン→120千トン)

◆MHM衛材用不織布増強

営業運転開始

<12月>

(+16千トン/年 14千トン→30千トン)



3EPT(市原工場)



Mitsui Hygiene Materials(タイ)

事業展開トピックス[基礎化学品]

◆PPコンパウンド増強営業運転開始

<5月>

(ACP、GSC、MCZ +63千トン/年 237千トン→300千トン)



Advanced Composites(北米)



Grand Siam Composites(タイ)



三井化学複合塑料(中山)(中国)

◆MPS/フェノール増強営業運転開始

<8月>

(+50千トン/年 250千トン→300千トン)

◆新会社 ACI社 (Mitsui Prime Advanced Composites India PVT Ltd) 設立

<9月>



Mitsui Phenols Singapore(シンガポール)

機能材料事業本部のコア事業

◆エラストマー

- ・能力 タフマー：**世界2位・アジア1位**
アドマー：**世界1位**

- ・能力増強 市原/3EPT増設完工

(昨年10月、+75千トン)

◆ウレタン

- ・能力 **アジア2位**(492千トン)

- ・能力増強 錦湖三井/MDI能力

増強決定

(完工 09年6月 +65千トン)



MELS (シンガポール)



ウレタン使用例(自動車)

先端化学品事業本部のコア事業

◆メガネレンズモノマー

- ・シェア **世界1位**
- ・技術的優位性

世界最高レベルの高屈折率を実現



◆農業化学品

- ・殺虫剤 **「スタークル」**

独創的な化学構造を有する
ハロゲンフリー浸透性殺虫剤



基礎化学品事業本部のコア事業

◆フェノール

- ・能力 **世界第2位** (920千トン)
- ・能力増強 MPS/フェノール
増強営業運転開始
(昨年8月、+50千トン)



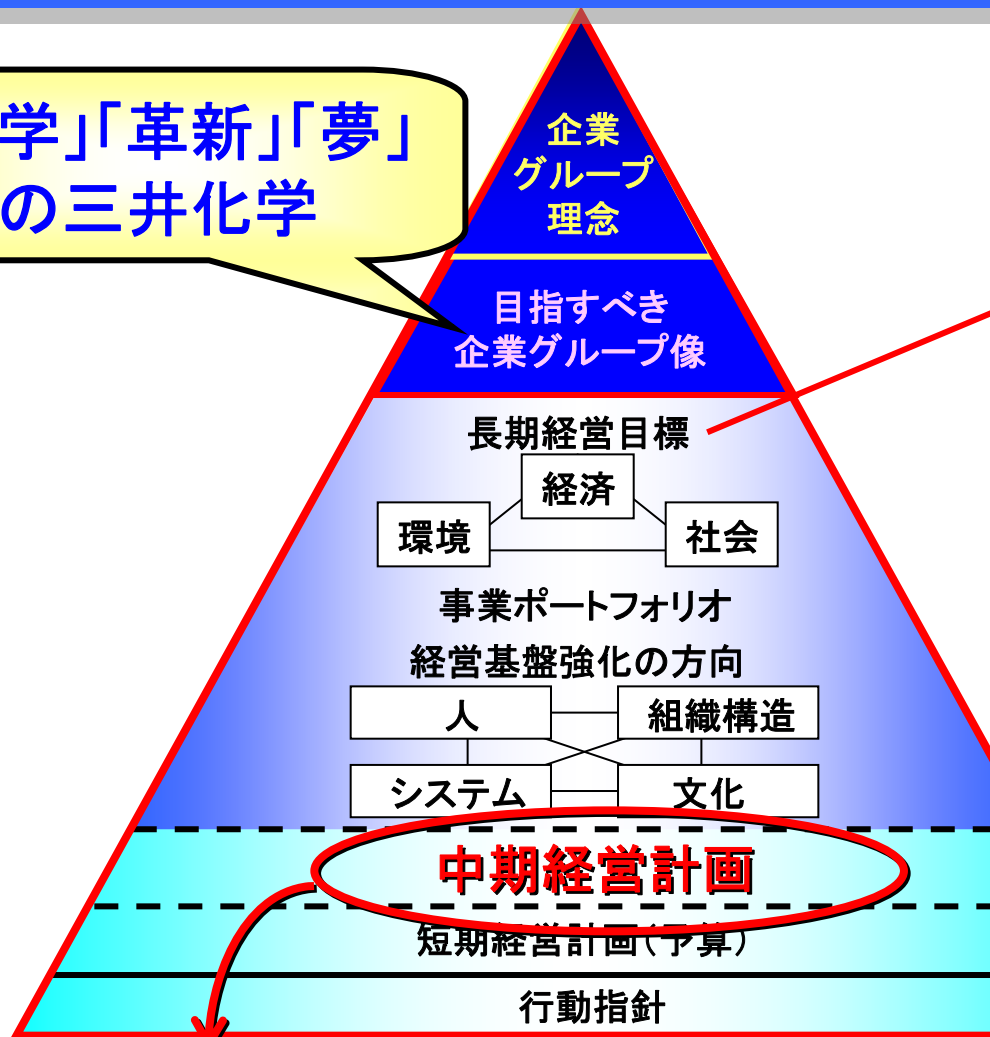
フェノールプラント(大阪工場)

◆PP自動車材

- ・能力 **世界第2位** (600千トン)
- ・能力増強 ACP、GSC、MCZ +63千トン/年(昨年5月)
- ・インド新会社 ACI社設立(昨年9月)

グランドデザインと08中計

「化学」「革新」「夢」
の三井化学



長期経営目標(2015年近傍)

収益[成長]

- ・営業利益: 1,500億円以上
- ・ROA : 10%以上
(総資産営業利益率)

環境[調和]

- ・GHG原単位指数: 90以下
(90年度基準)
- ・産業廃棄物1%以下(ミニム化)*1
- ・非化石原料活用技術の開発

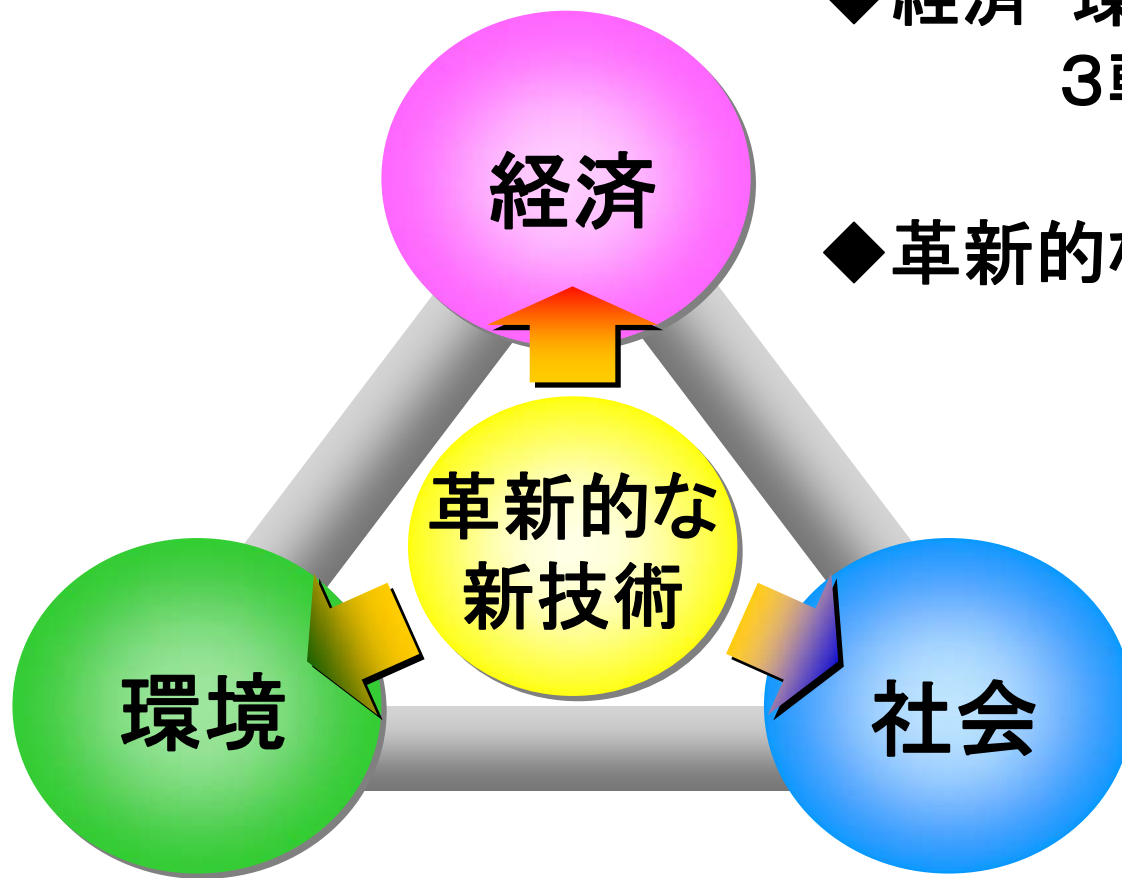
*1 埋立て量/産業廃棄物量 \leq 1%

08中計の位置付け

グランドデザインの長期経営目標を
実現するための前半4カ年の経営計画

08中計の基本コンセプト

「新たな価値創造への挑戦」



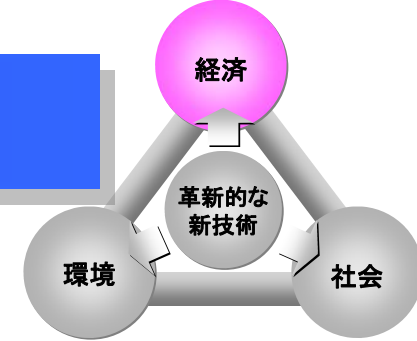
◆経済・環境・社会の
3軸経営の確立

◆革新的な新技術の創出

08中計の前提

| | | |
|--------|-------|---|
| 経済成長率 | アジア | 5.8% (日本 1.7%、中国 9.4%、インド 9.0%) |
| | 米国 | 3.0% |
| | 欧州 | 2.0% |
| 関係市場動向 | 自動車 | <ul style="list-style-type: none"> ・生産台数: 日本 横ばい、欧米 +1.5%、アジア +4.0% ・技術の二極化: 低環境負荷型と小型軽量廉価型自動車が伸長 |
| | 薄型テレビ | <ul style="list-style-type: none"> ・薄型テレビは成長率鈍化 ・有機EL伸長 |
| 主要諸元 | 為替 | 115 円/\$ (150円/EUR) |
| | 原油 | 65 \$/BBL |
| | ナフサ | 595 \$/T |
| | 国産ナフサ | 50,000 円/KL |

経済軸 使命と基本戦略



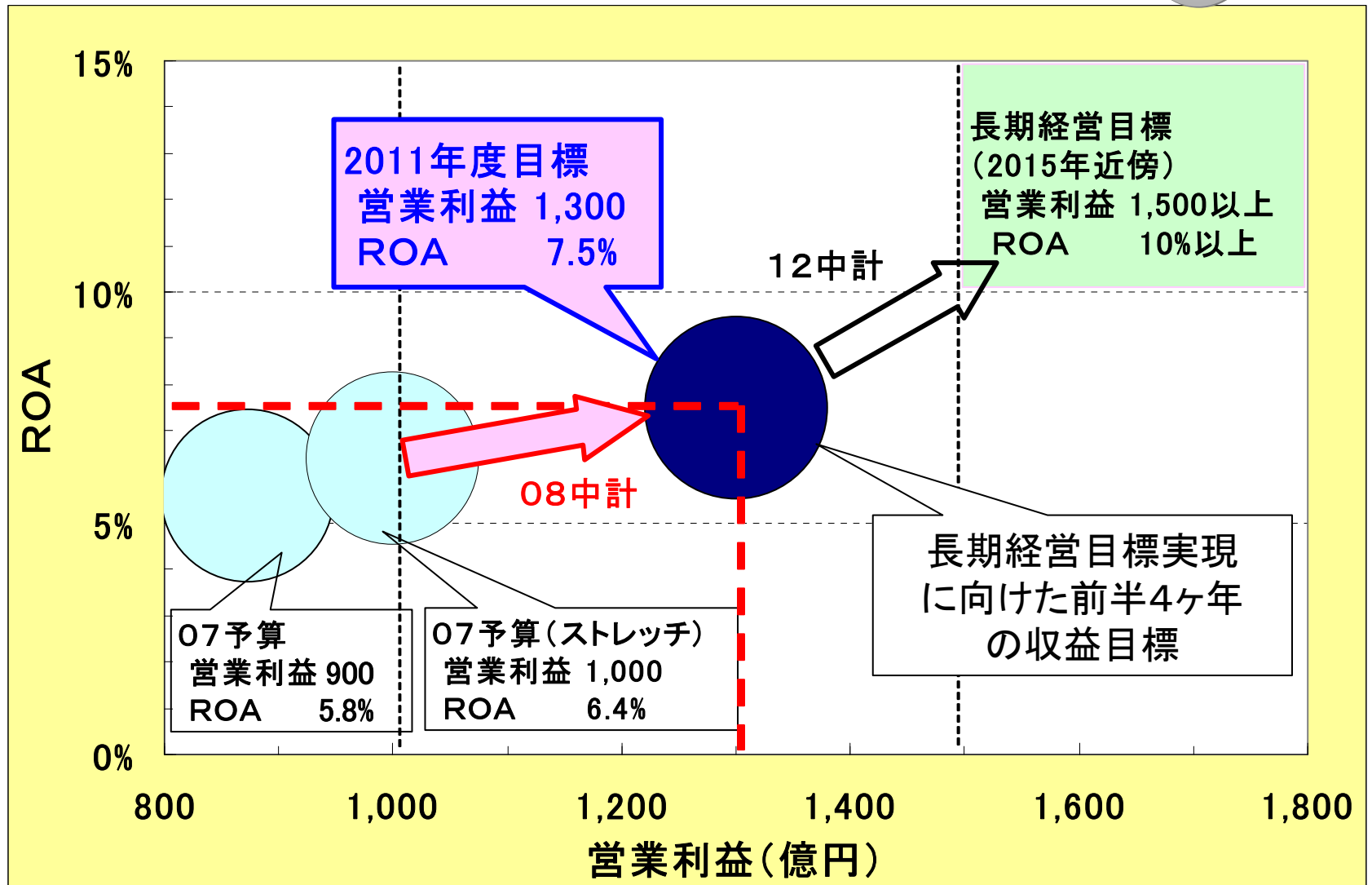
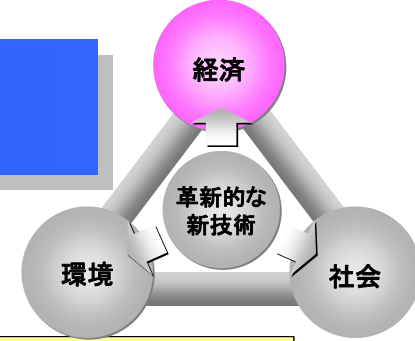
<使命>

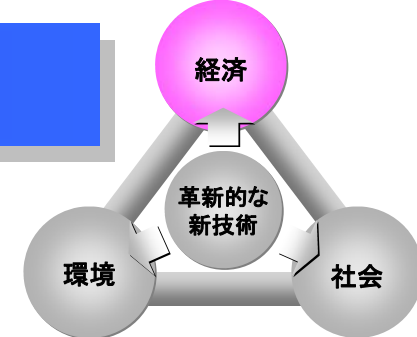
長期経営目標実現へ向けた
前半4カ年の成長と拡大

<基本戦略>

- M&Aを含めた経営資源の積極投入による
- 長期収益目標実現に向けた
成長・拡大のスピードアップ
- 目指すべき事業ポートフォリオの実現加速
- 革新的な新技術の創出

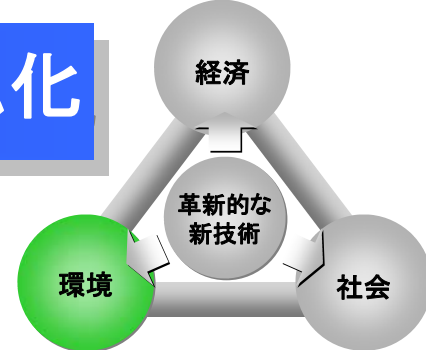
経済軸 経営目標





| | 機能材料 | 先端化学品 | 基礎化学品 |
|--------|-----------------------|----------------------|---------------------------|
| 使命 | 成長ドライバーたる高収益体質の獲得 | 第3の柱へ向けた規模の獲得 | 収益力の維持・強化 |
| 基本戦略 | 機能性ポリマーズ拡大と大胆な事業の組み換え | M&Aを中心とした事業規模拡大 | 中東等の脅威に対する国際競争力強化 |
| 具体的取組み | 機能性ポリマーズへの経営資源の集中投入 | 農業化学品・ビジョンケア・触媒事業の拡大 | 差別化技術による高付加価値化、アジア成長市場の獲得 |

環境軸 GHG原単位、産廃埋め立て量ミニマム化



1. GHG原単位

＜経営目標(2011年度)＞

GHG原単位指数 **85以下**
(エネルギー原単位指数 **80以下**)

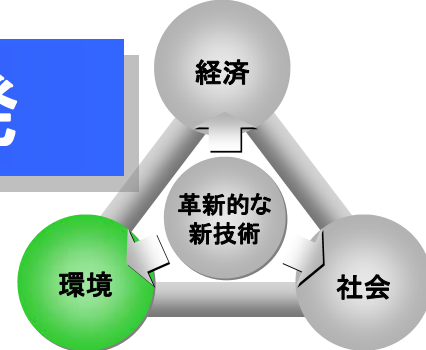
＜基本戦略＞ (1)省エネ投資の実行
(2)GHG大幅削減に資する革新的プロセスの開発

2. 産業廃棄物埋立て量ミニマム化

＜経営目標(2011年度)＞

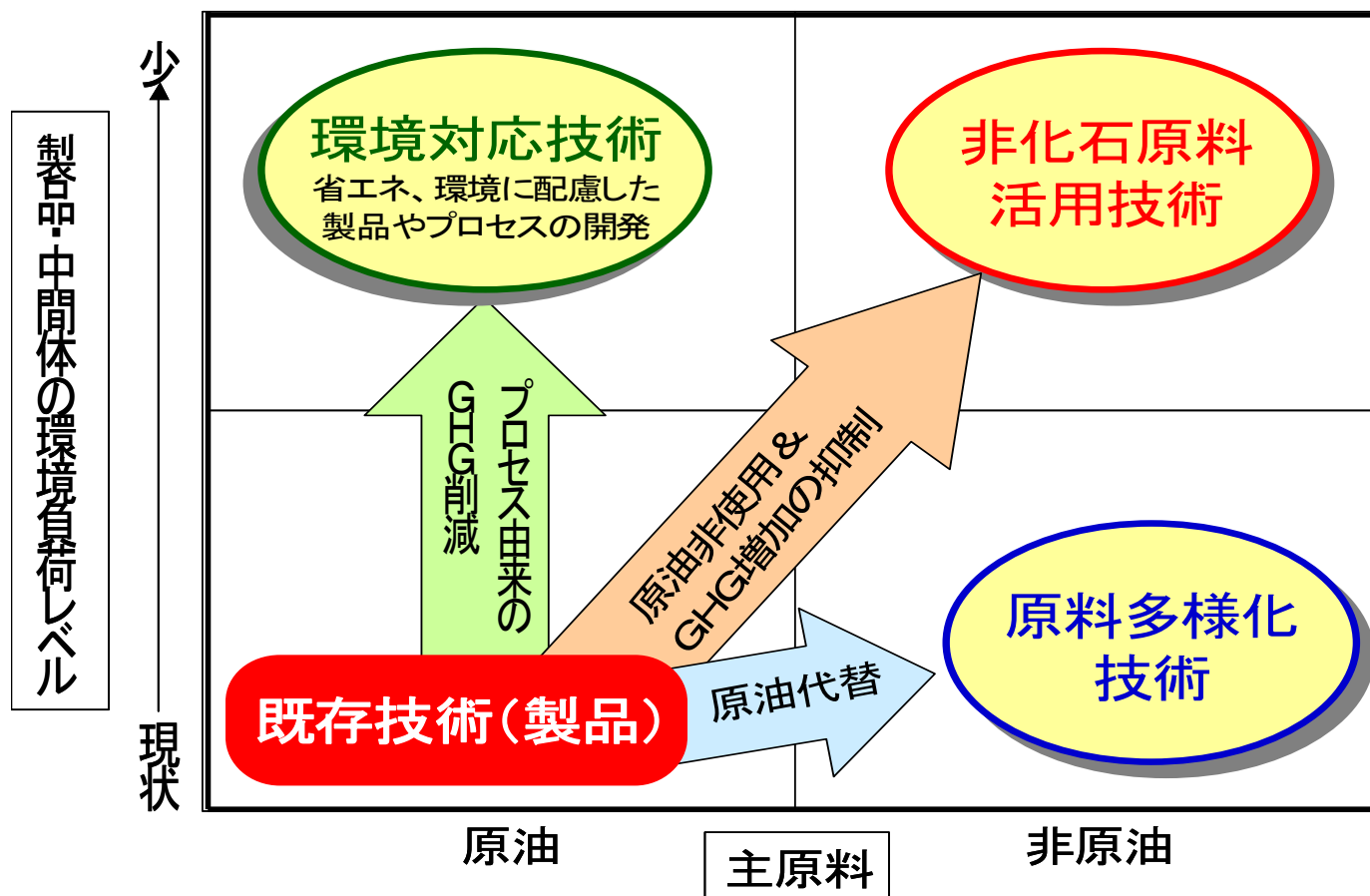
国内全拠点埋立て率 **1%以下 (= ミニマム化)**
海外生産拠点における平均埋立て率**5%以下**

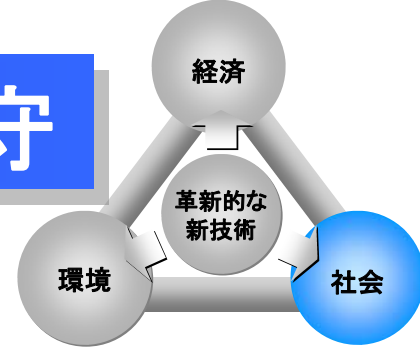
環境軸 非化石原料活用技術開発



<基本戦略>

- (1) 原料転換技術の開発
- (2) 非可食資源の活用





◆世界最高の労働安全水準の実現(2011年)

- ・労災度数率(休業) **0.15以下**
- ・同(休業+不休業+微傷) **1.8以下**

◆コンプライアンス違反事例の撲滅

(1)グループ全社員の意識改革の促進

(2)すべての生産拠点における抜本的な労働安全体制の整備

経営資源投入計画

投融资

(億円)

04
中計



1.8倍の投融资
を計画

08
中計



機能材料

先端
化学品

基礎
化学品

間接部門他

0

2,000

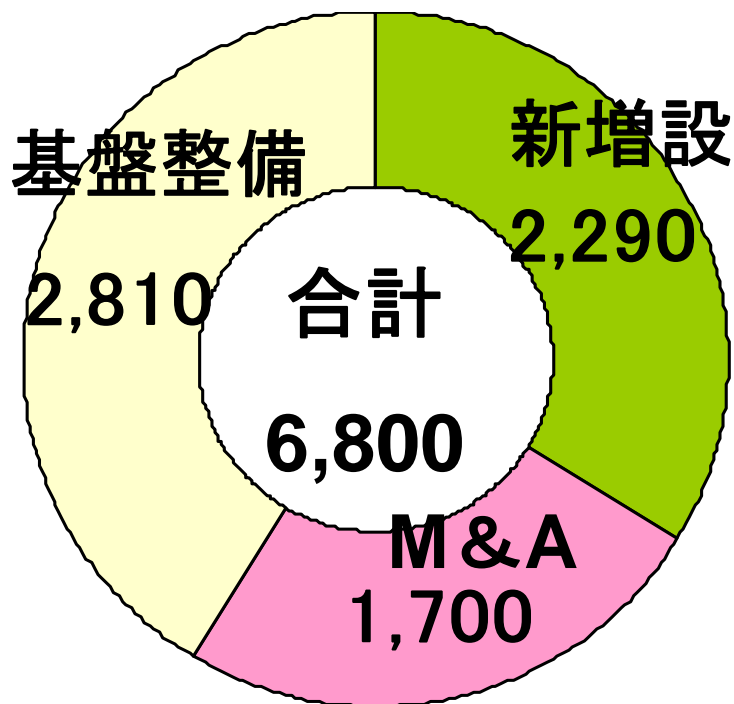
4,000

6,000

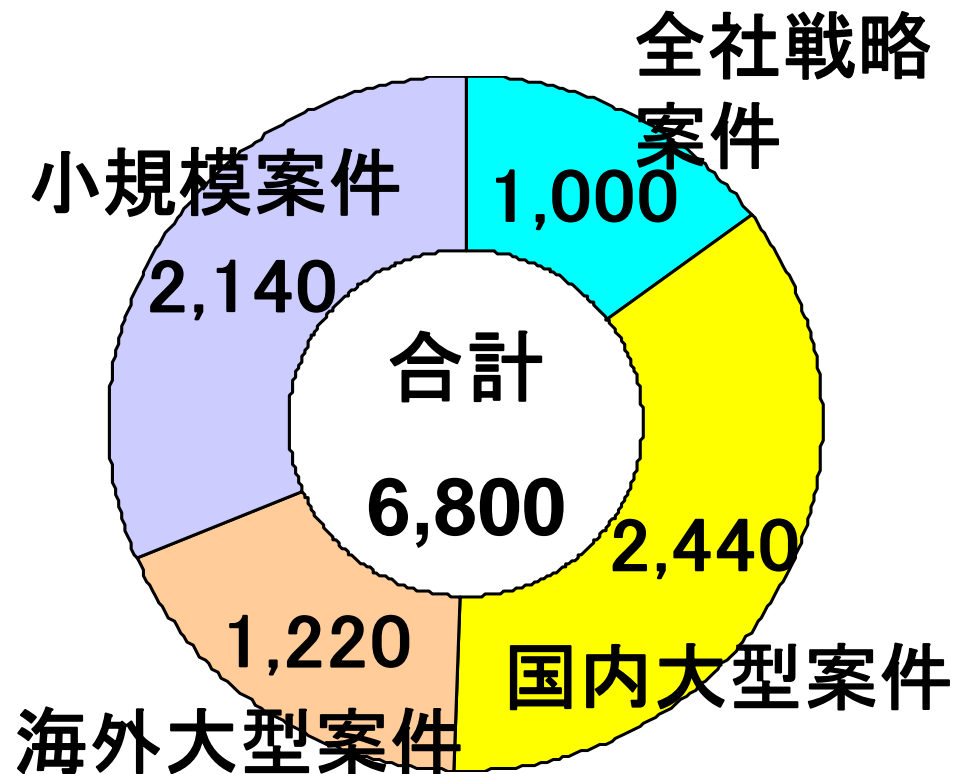
8,000

(億円)

目的別



案件規模別



全社戦略
案件

1,000

合計

6,800

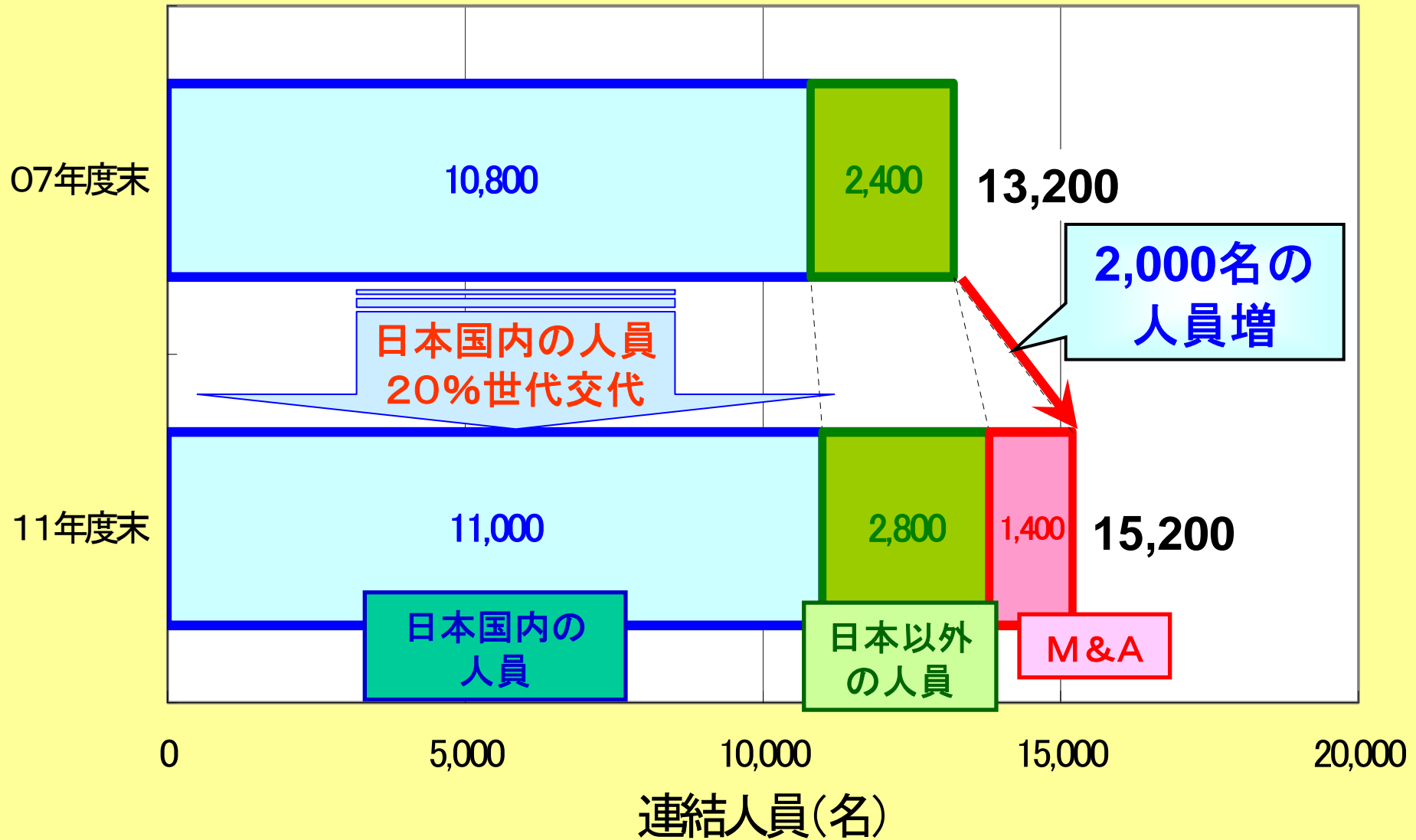
2,440

国内大型案件

1,220

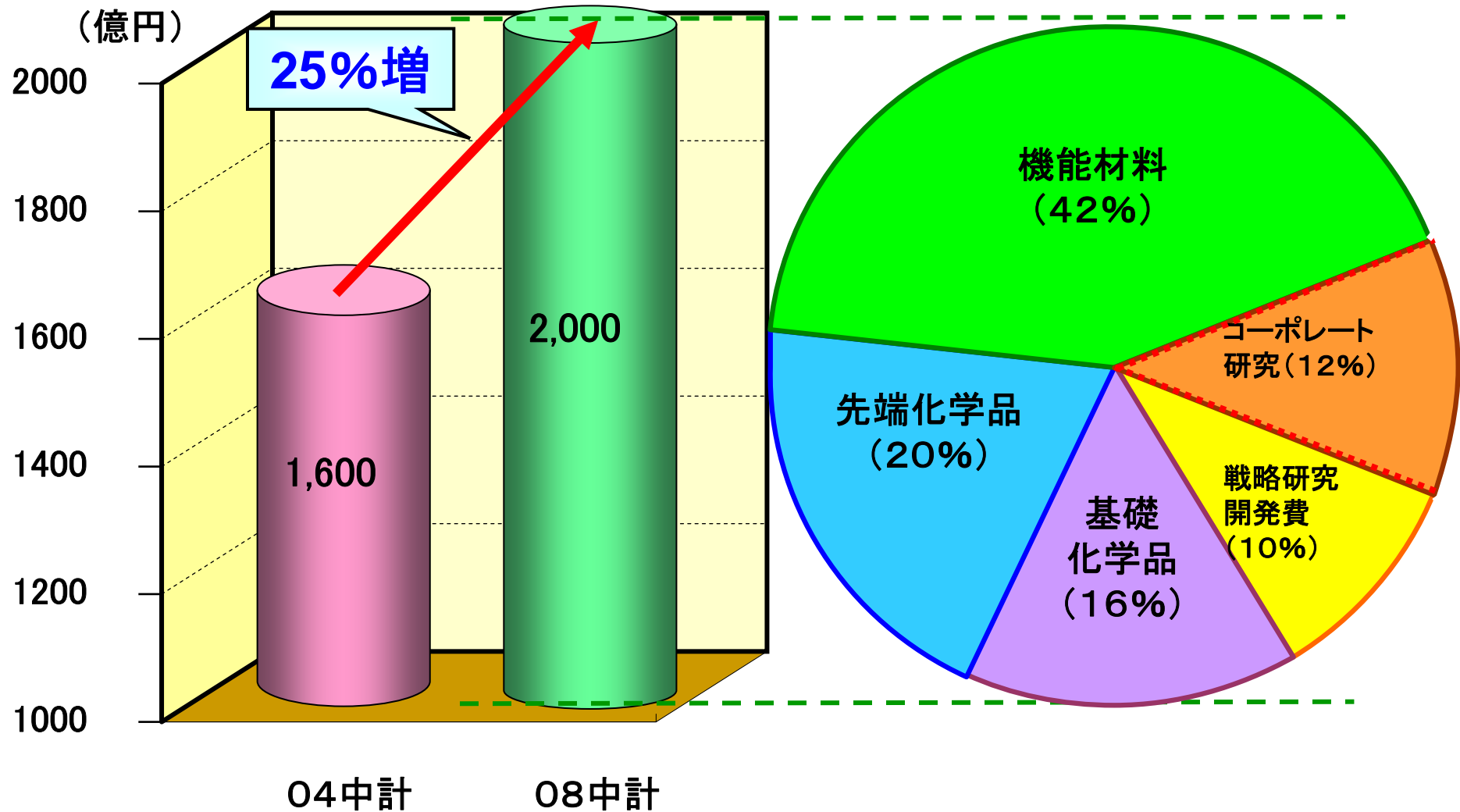
海外大型案件

経営資源投入計画 人材

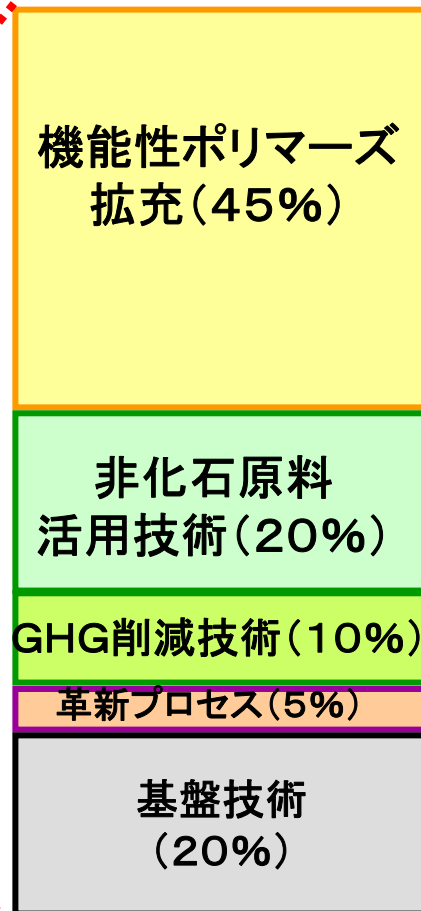
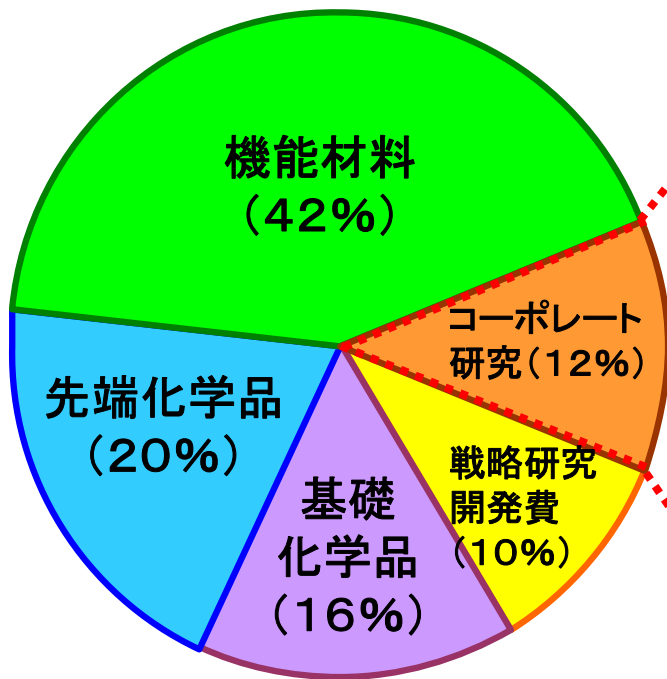


經營資源投入計畫

研究開發費



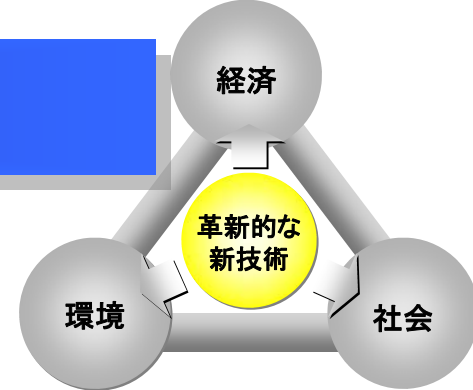
コーポレート研究資源配分(11年度)



重点開発分野比率 80%

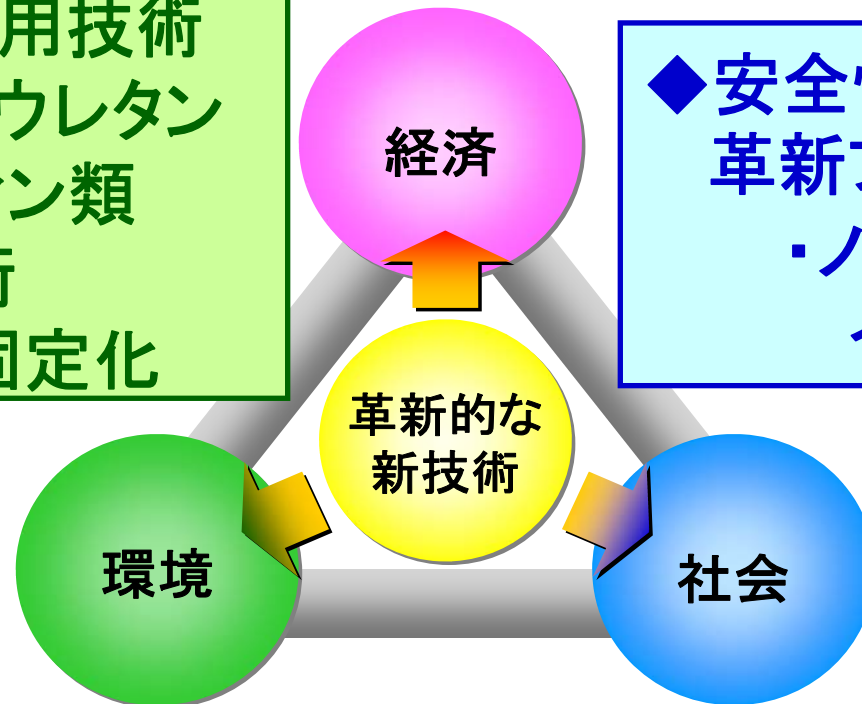
4つの重点テーマに経営資源の80%を集中投入し、革新的な新技術創出を加速する

革新的な新技術 方向性



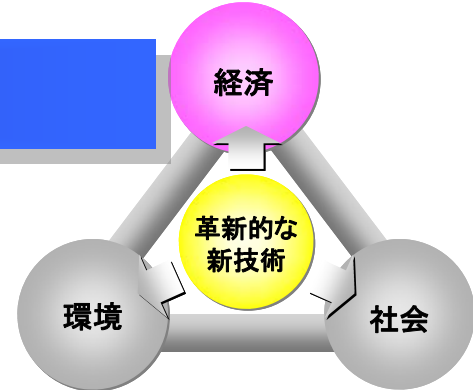
- ◆ 機能性ポリマーズの拡充
- ◆ オレフィン類やアロマ類の革新プロセス開発

- ◆ 非化石原料活用技術
 - ・ 植物由来ポリウレタン
 - ・ バイオオレフィン類
- ◆ GHG削減技術
 - ・ CO2化学的固定化



- ◆ 安全性の高い革新プロセス開発
 - ・ ノンホスゲン法
 - ・ イソシアネート

機能性ポリマーズの拡充



「機能」・「用途」の更なる拡充を目指す。



ナノ結晶構造制御型
エラストマー

超高分子量
エチレン系
ポリマー



エチレン／環状オレフィン
共重合型透明樹脂



低反発性
ポリウレタン



構造の極限追求
構造の複合化
新規構造導入

高耐熱性
半芳香族ポリアミド



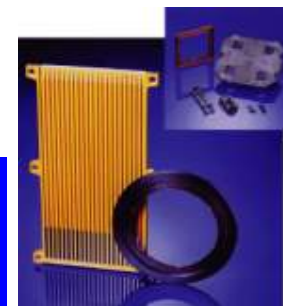
めがねレンズ用高屈折
チオウレタンポリマー



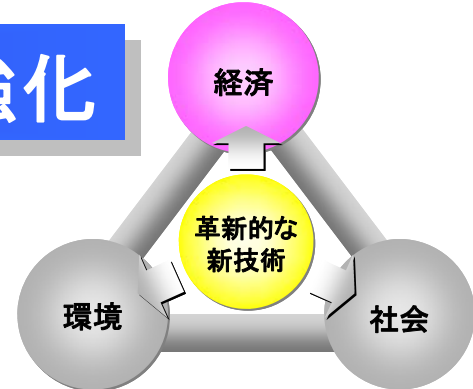
ウレタン系
ポリマー

ポリアミド
ポリイミド

超耐熱性
熱可塑性
ポリイミド



革新的な新技術 基礎化学品の競争力強化



競争優位な 革新プロセス

狙い 生産効率向上による
競争力の強化

➤メタセシス高活性触媒導入

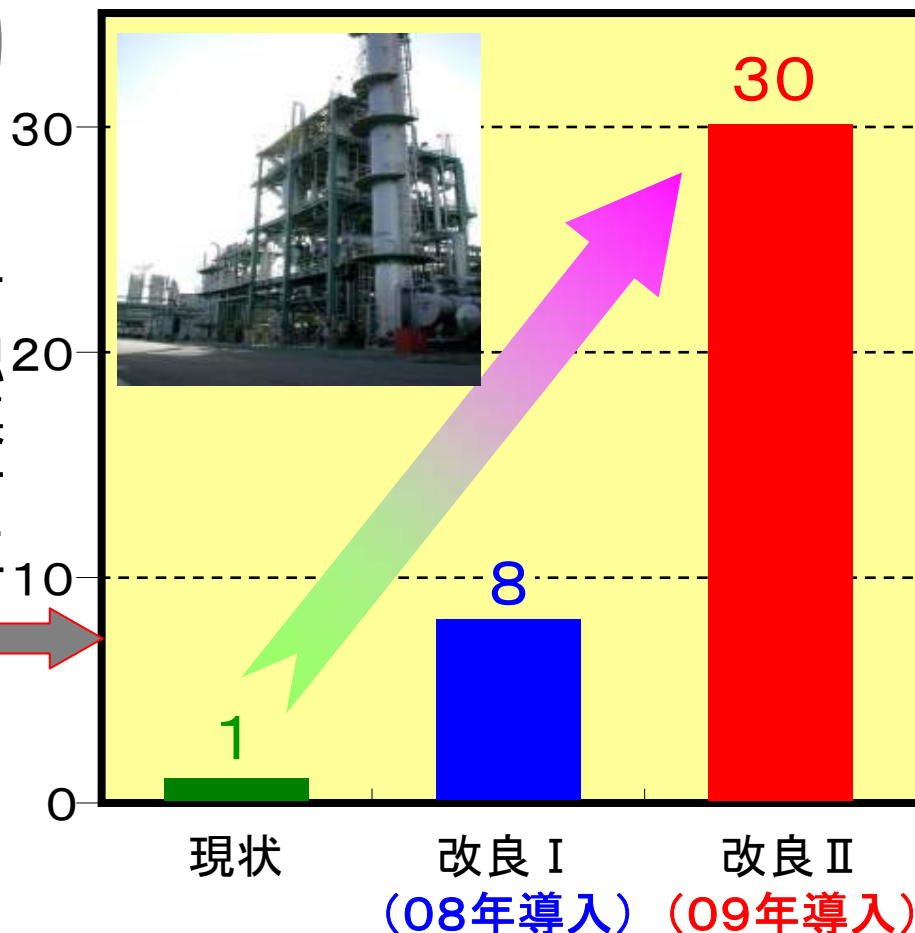
➤その他

フェノール、BPA

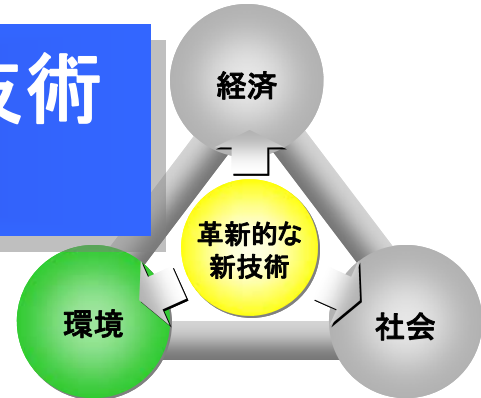
PTA

オレフィン・アロマ …等々

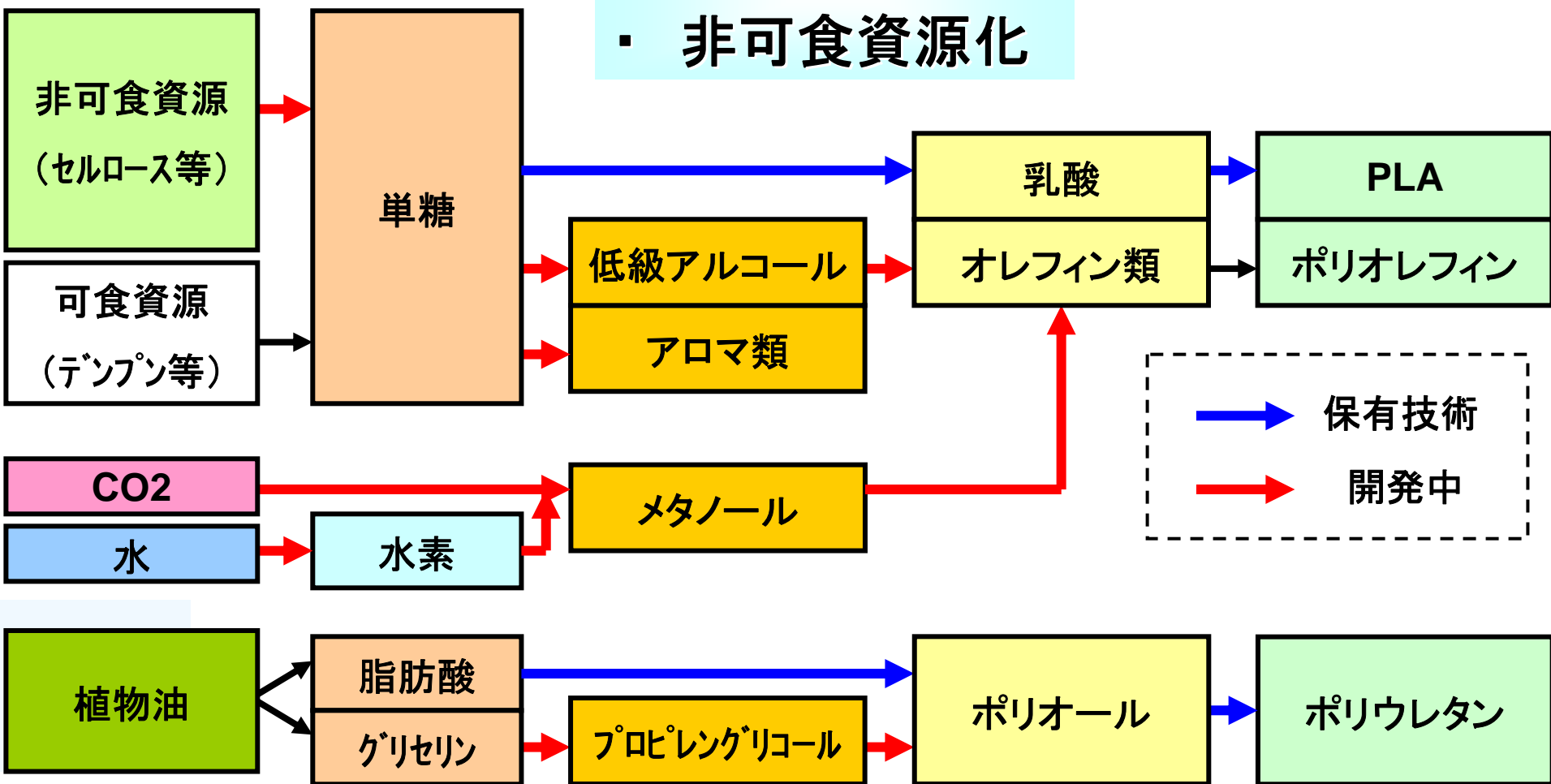
相対触媒活性



革新的な新技術 非化石原料の活用技術 開発の方向性

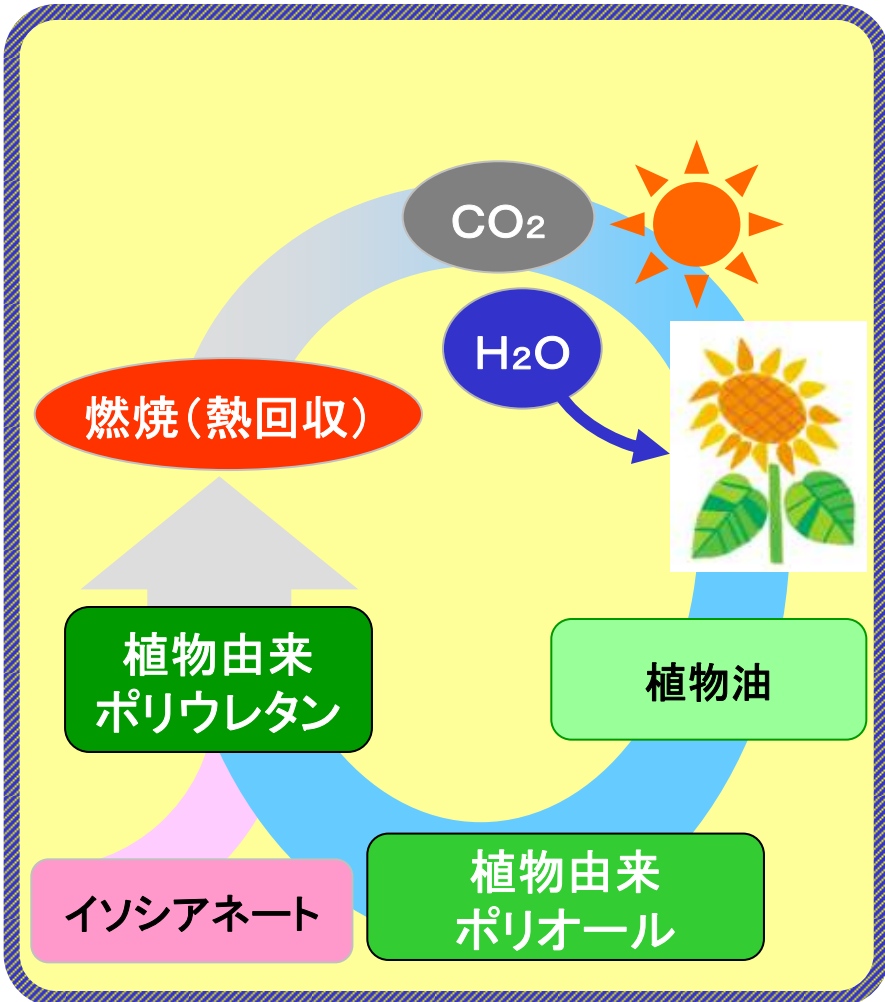
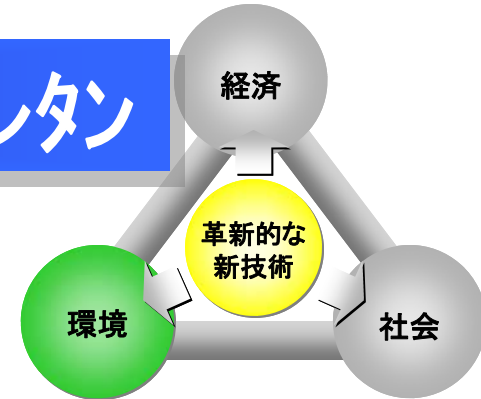


- 原料転換
- 非可食資源化



革新的な新技術

植物由来ポリウレタン



【用途例】 (植物度: 10~70wt%)

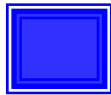
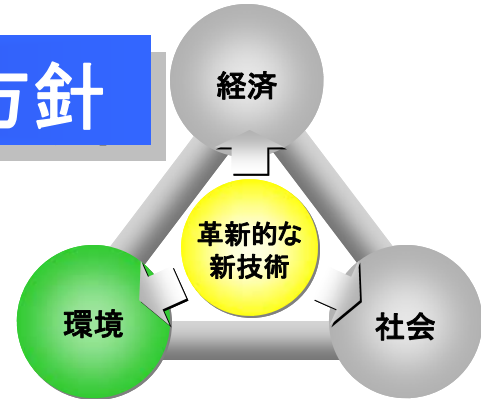
- ①低反発まくら
- ②自動車用シート



自動車用シート

革新的な新技術

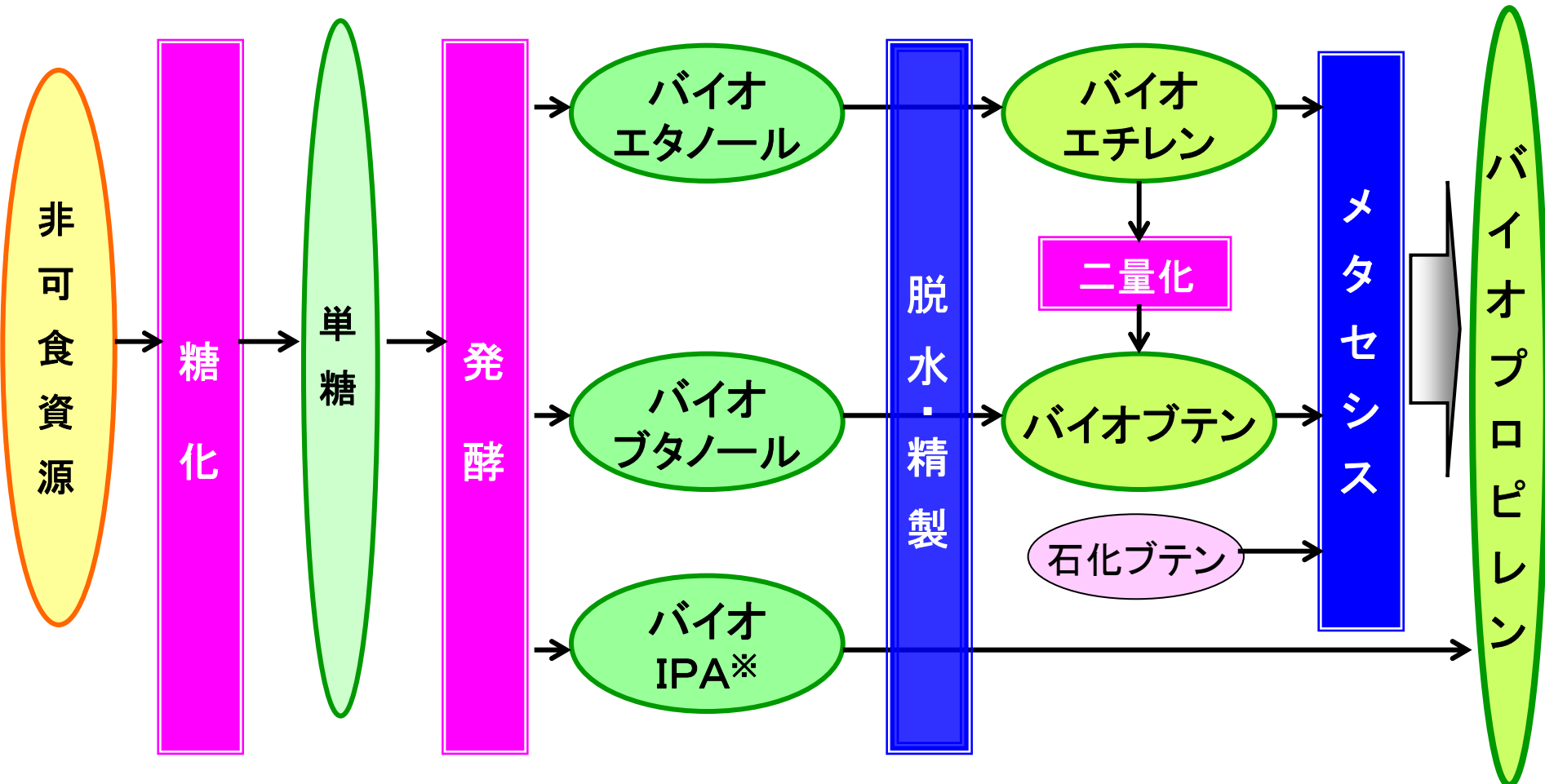
バイオ・オレフィン類の開発方針



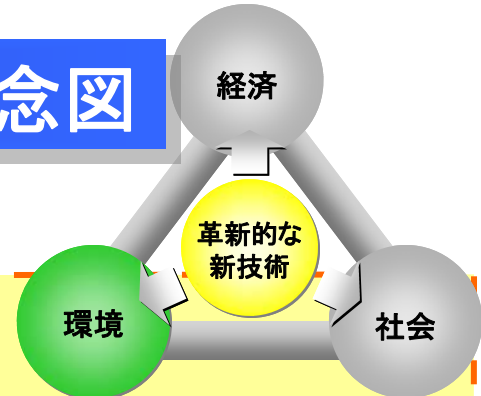
保有技術



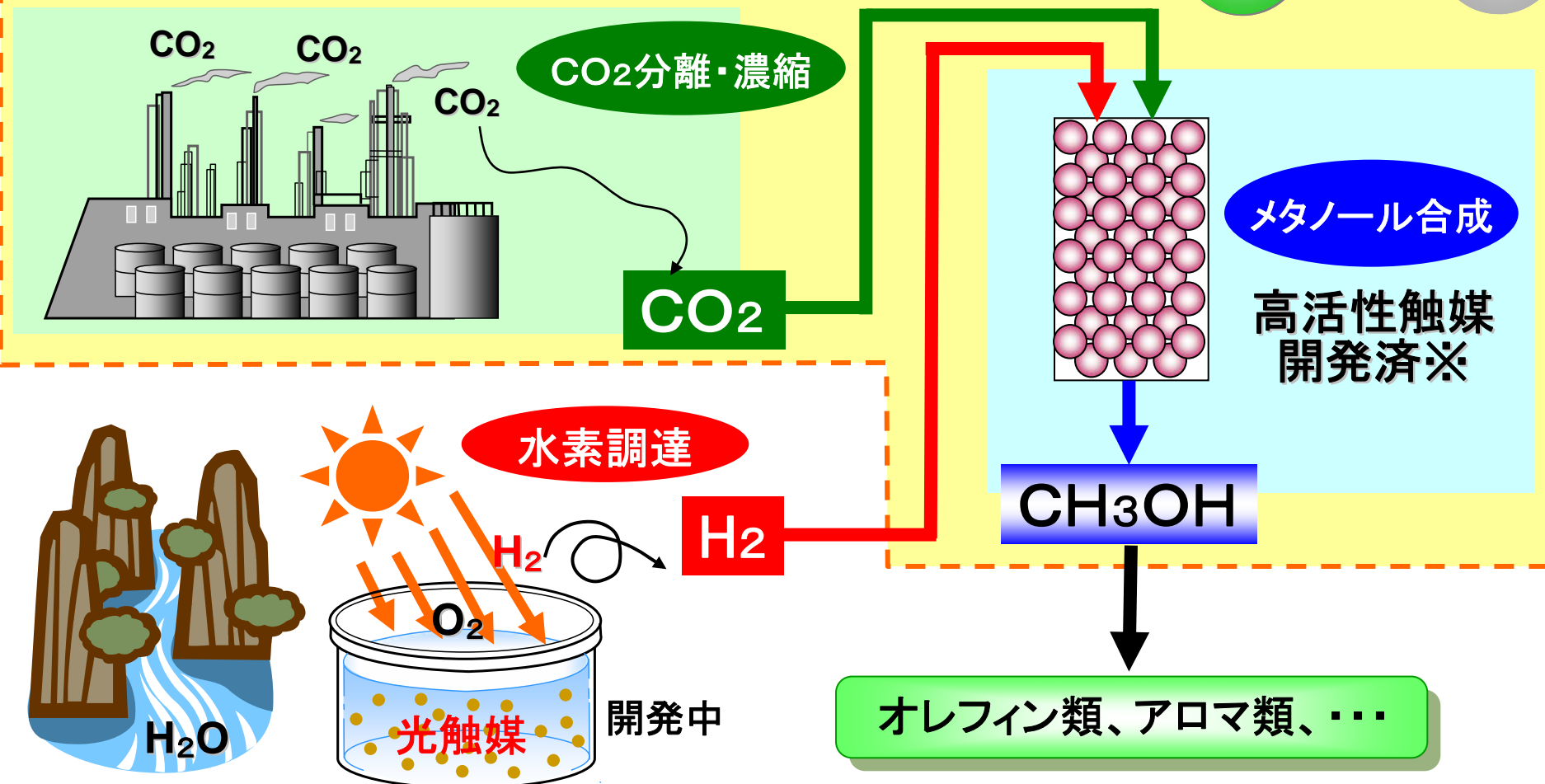
開発中



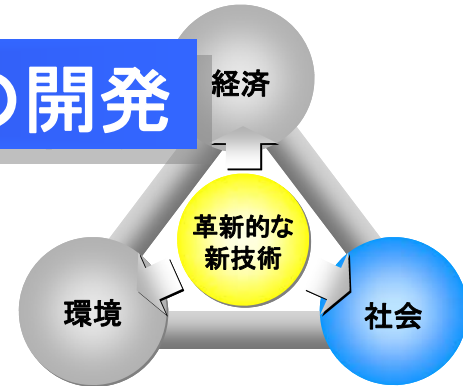
※イソプロピルアルコール



工業化レベル実証設備の設置



革新的な新技術 安全性の高い革新プロセスの開発



安全性の高い 革新プロセス

狙い 高い安全性確保による
競争力の強化

➤ ホスゲン法
イソシアネート
製造プロセス
等々

より高く

安全性

ホスゲン法
(現行プロセス)

ノンホスゲン法
(革新プロセス)

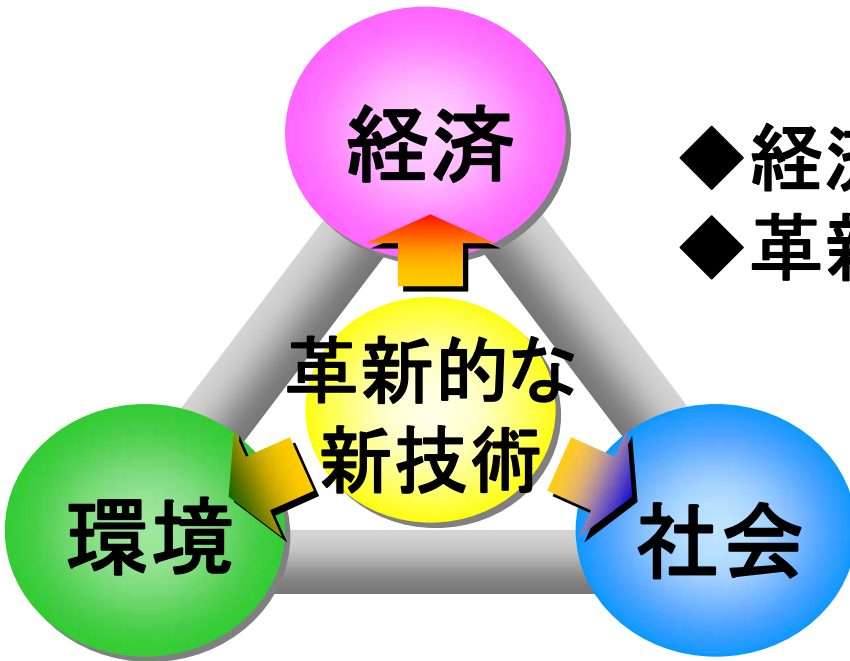
脱ハロゲン化
の達成

開発難易度

より難しく

08中計まとめ

「新たな価値創造への挑戦」



- ◆ 経済・環境・社会の3軸経営の確立
- ◆ 革新的な新技術の創出

「新たな価値創造」に向けて、グループ社員全員で08中計の達成を目指します！！



Mitsui Chemicals

「化学」「革新」「夢」の三井化学
～絶えず革新を追求し、
化学のちからで夢をかたちに～

(完)